



2013年4月15日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2013年3月度 J. フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	3月度
百貨店事業	5.3 (6.6)
パルコ事業	—
卸売事業	14.9
クレジット事業	5.2
その他事業	▲ 13.0
連結合計	24.1

(注)2012年9月度からパルコ事業を新たに追加表示し、2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。  
 なお連結合計からパルコ事業及びスーパーマーケット事業を除いた3月度の対前年増減率は4.4%増（パルコ事業の対前年増減率は6.4%増）。  
 百貨店事業合計の（ ）内は大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店（いずれも2013年1月31日営業終了）を除く既存店ベース

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・3月度の百貨店事業の売上高は、大丸松坂屋・パルコ初の共同大型販促「春のウルトラサンクスフェスティバル」が盛況であったほか、スプリングコートやジャケット、パンツなど春物ファッションが活発に動くとともに、ラグジュアリーブランド、美術宝飾品など高額品も大幅に売上を伸ばしたことなどから、大丸松坂屋百貨店合計では対前年7.5%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同6.6%増となった。なお大丸松坂屋百貨店、百貨店事業ともに8ヶ月連続で前年実績を上回った。

2) パルコ事業

- ・上旬からの気温上昇により、春物衣料品・身回品などのファッションアイテムが好調であったほか、名古屋パルコ、静岡パルコなどの改装効果が全体の売上高を牽引し、パルコ事業全体では対前年6.4%増となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、食品が好調を持続したことに加え、3月から新たに大丸札幌店酒売場の運営を受託したリテール事業が売上を伸ばしたことにより対前年14.9%増となった。
- ・クレジットカード事業のJFRカードは、加盟店手数料収入の増加やリボ払いを利用されるお客様の増加などが寄与し、対前年5.2%増となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装の前年大型工事売上計上の反動減の影響が大きく、対前年マイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2013年3月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	3月度	
	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	4.1	▲0.6
大丸 梅田店	0.1	▲3.8
大丸 東京店	36.6	36.3
大丸 浦和パルコ店	0.6	4.2
大丸 京都店	2.8	2.0
大丸 山科店	1.2	3.6
大丸 神戸店	10.9	5.1
大丸 須磨店	8.7	2.3
大丸 芦屋店	▲0.2	0.3
大丸 札幌店	8.0	5.1
松坂屋 名古屋店	7.9	29.4
松坂屋 上野店	▲3.3	1.6
松坂屋 静岡店	5.2	3.8
松坂屋 銀座店	9.4	▲22.0
松坂屋 高槻店	▲0.7	▲2.9
松坂屋 豊田店	5.0	3.3
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>7.5</b>	<b>6.3</b>
博多大丸	1.2	▲3.5
下関大丸	▲2.1	▲0.4
高知大丸	2.2	▲5.3
<b>百貨店事業合計</b>	<b>6.6</b>	<b>5.3</b>

(注) 大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店（いずれも2013年1月31日営業終了）を除く既存店ベース。  
前年に上記2店舗を含めた3月度の売上高は、大丸松坂屋百貨店合計対前年5.9%増、百貨店事業合計同5.3%増。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	3月度
紳士服・洋品	14.1
婦人服・洋品	10.4
子供服・洋品	3.7
その他の衣料品	9.4
衣料品計	10.2
身 回 品	10.9
化粧品	1.4
美術・宝飾・貴金属	14.8
その他雑貨	16.0
雑 貨 計	8.4
家 具	5.8
家 電	21.8
その他の家庭用品	7.8
家庭用品計	7.9
生 鮮	▲1.2
菓 子	4.5
惣 菜	11.9
その他食料品	1.1
食料品計	4.8
食堂・喫茶	4.1
サービス	4.2
そ の 他	▲11.0
合 計	7.5

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、増床した東京店が売上を伸ばしたほか、心齋橋店、神戸店、名古屋店などの主要店でラグジュアリーブランドの売上が大きく伸びた。紳士服・洋品は、コート、ジャケット、パンツなど主力アイテムが好調であった。身回品は、パンプスが良く動いた婦人靴や、旅行用品・カバンが売上を伸ばした。雑貨は、時計・宝飾品が好調であった。食品は、東京店に加え、春の改装効果が続く神戸店が牽引した。